

テーマ:『 環境教育の充実をめざして 』

平塚市立 金目小学校

Tel. 0463-58-0020 担当者: 宮井 徹

わんぱく祭り (出し物)



わんぱく祭り (出し物)



フェスティバル金目小2008(模擬店)



フェスティバル金目小2008(模擬店)



■実践内容:

児童会行事「わんぱく祭り」及び学校行事&PTA行事「フェスティバル金目小」への取り組みの中で、下記の活動を児童一人一人が実践できるよう、PTAの協力を得ながら、児童会活動の時間、学校行事の時間を核としながら、場の設定と指導を行った。

・「わんぱく祭り」(各種の出し物)に向けた取り組み

家庭の廃品を必要な分だけ持ち寄る。購入する消耗品の量を最小限にとどめる。ごみダイエットを児童会でよびかける。ごみが少なくなるよう設計する。少ない量ののりや接着テープで丈夫に組み立てる。ポスターや景品の量を最小限にとどめる。机・椅子・教具などを有効利用する。紙を裏表使う。ごみを分別する。まだ使えるものは、ごみにせず、次の活動のために保管する。ごみダイエットをふりかえる。

・「フェスティバル金目小」(各種の催し・模擬店)に向けた取り組み

家から持ってきたおわん・はし・スプーン・容器・ごみ持ち帰り袋を使う。ティッシュを使わず、お手ふきを使う。食べられる分だけ買う。ごみ箱の設置を最小限にとどめる。ごみを分別する。ごみダイエットをふりかえる。

■実践成果:

心が柔軟でいろいろなことに興味を持ちやすい小学生に対する環境教育(行事でのごみ減量化への取り組みに対する指導)は、子どもの心にごみ減量意識の芽を育み、子どもが家庭でごみ問題に関心を示し、我が家のごみに目をむけることができた。

■実践ポイント:

ごみダイエット作戦を職員会議等で緻密に組み立てる。PTAの協力を得ながら、PTAと一丸となって子どもの指導にあたる。子どもにごみを出さない体験をさせる。こうしたことにより、子どもがごみ減量化の重要性に気づいていった。

